

平成20年度の自動車不具合情報の統計結果について

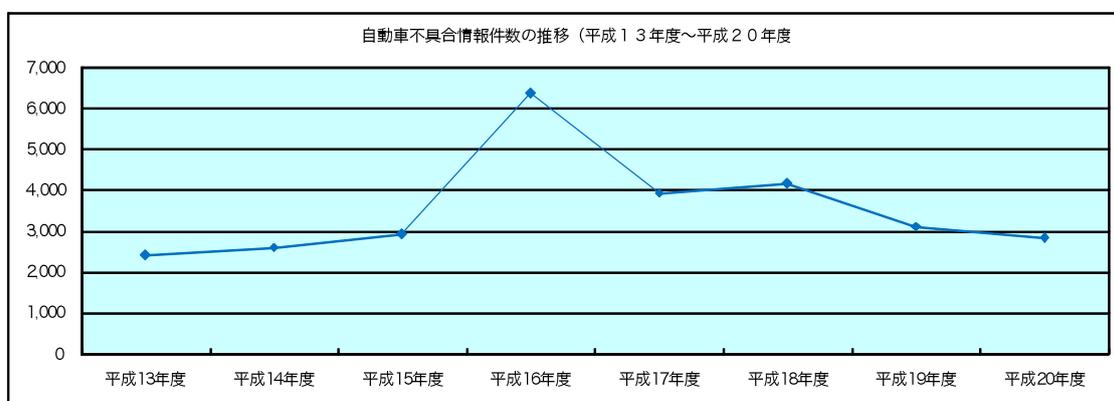
国土交通省では、昨年に引き続き、自動車不具合情報ホットライン (<http://www.mlit.go.jp/RJ/>) に自動車ユーザー等から寄せられた市場での自動車の不具合情報について、統計結果を公表することとしました。

平成20年度に申告のあった自動車の不具合情報の統計結果は以下の通りです。

なお、自動車不具合情報は、設計・製造に起因するものに限られておらず、整備不良やユーザーの使用ミスなど他の要因に起因する可能性があるものも含まれます。また、不具合情報はあくまでユーザーの申告によるものであり、その内容の事実関係については、国土交通省として確認したものではありません。

1. 平成20年度に国土交通省の自動車不具合情報ホットラインに寄せられた不具合情報（以下、「自動車不具合情報」という。）の件数は、5,790件であり、そのうち有効な不具合情報は2,837件である。自動車不具合情報ホットライン設立以降、平成16年度を除き、ほぼ横ばいとなっている。

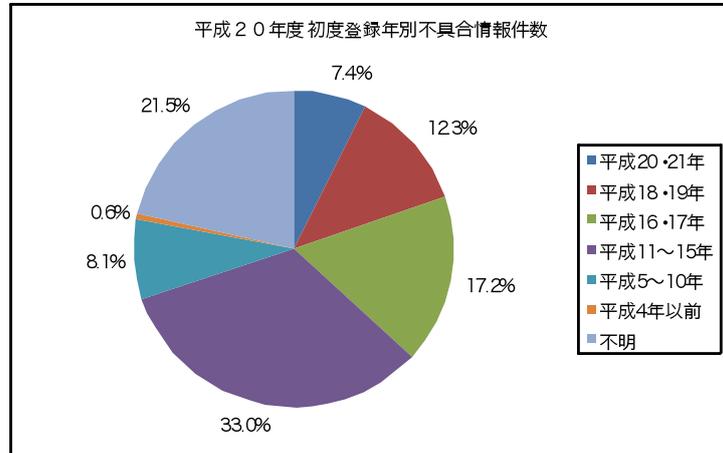
平成16年度は、三菱自動車工業の不正行為が明らかとなった年であり、当該メーカーの自動車についての情報が数多く寄せられたことから自動車不具合情報が急増したものである。



(件)

年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度
件数	2,403	2,604	2,925	6,361	3,934	4,150	3,110	2,837

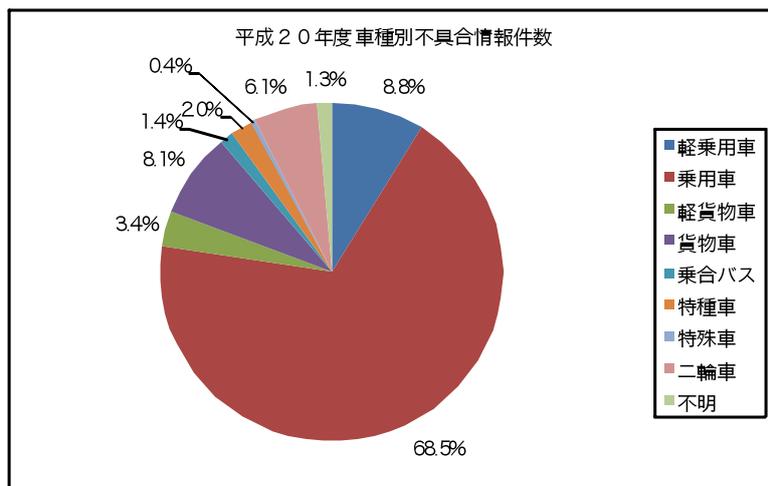
2. 初度登録年別不具合情報件数は、初度登録年が平成11年から15年の自動車に不具合が発生したとの申告が941件と全体の約33%と最も多く、次いで、平成16年・17年491件、平成18年・19年351件の順となっている。



(件)

初度登録年別 年度別	平成20・21年	平成18・19年	平成16・17年	平成11～15年	平成5～10年	平成4年以前	不明	合計
平成20年度	211	351	491	941	230	17	612	2,853

3. 車種別不具合情報件数は、乗用車の自動車不具合情報1,955件が全体の約69%と最も多く、次いで、軽乗用車252件、貨物車230件の順となっている。これは、自家用乗用車を所有する一般のユーザーから自動車不具合情報が登録される割合が高いこと、乗用車の保有車両数44,920千台が全体の約54%と自動車保有車両数と関連していると考えられる。

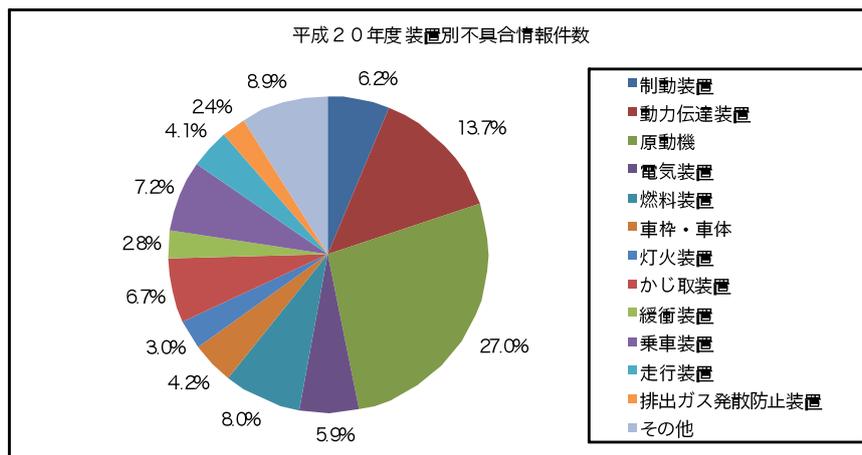


(件)

車種別 年度別	軽乗用車	乗用車	軽貨物車	貨物車	乗合バス	特種車	特殊車	二輪車	不明	合計
平成20年度	252	1,955	97	230	39	58	11	174	37	2,853

4. 装置別不具合情報件数は、原動機 771 件が全体の約 27%と最も多く、次いで、動力伝達装置 390 件、燃料装置 228 件、乗車装置 206 件、かじ取装置 190 件、制動装置 176 件、電気装置 169 件、車枠・車体 119 件、走行装置 117 件、灯火装置 85 件、緩衝装置 81 件、排出ガス発散防止装置 68 件の順となっている。

また、原動機の不具合事象は、エンスト 156 件が最も多く、動力伝達装置の不具合事象については、変速不良 102 件が最も多かった。

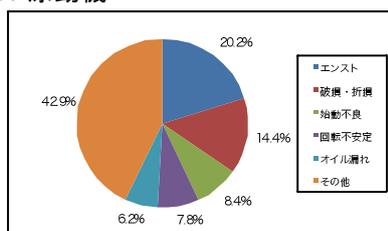


(件)

装置別 年度別	制動装置	動力伝達装置	原動機	電気装置	燃料装置	車枠・車体	灯火装置	かじ取装置	緩衝装置	乗車装置	走行装置	排出ガス発散防止装置	その他	合計
平成20年度	176	390	771	169	228	119	85	190	81	206	117	68	253	2,853

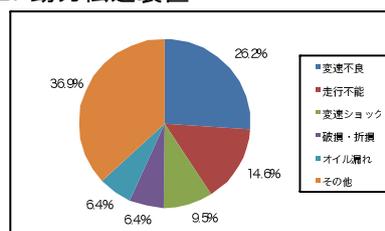
注:エアバッグやシートベルトなどの保安装置は乗車装置として分類

1. 原動機



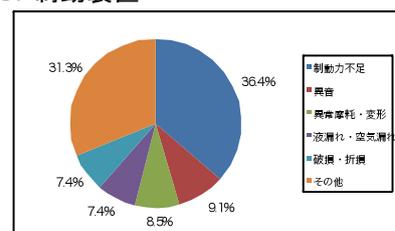
順位	不具合事象	件数
1	エンスト	156
2	破損・折損	111
3	始動不良	65
4	回転不安定	60
5	オイル漏れ	48
	その他	331
	合計	771

2. 動力伝達装置



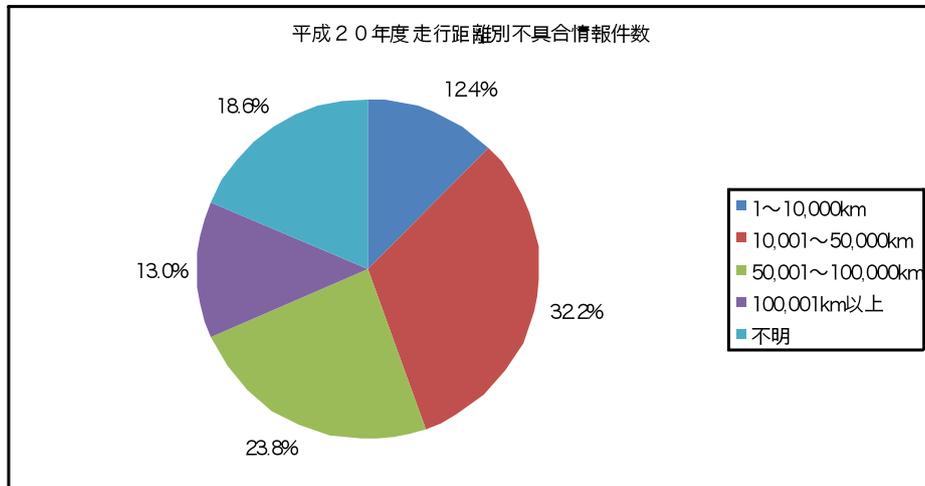
順位	不具合事象	件数
1	変速不良	102
2	走行不能	57
3	変速ショック	37
4	破損・折損	25
5	オイル漏れ	25
	その他	144
	合計	390

3. 制動装置



順位	不具合事象	件数
1	制動力不足	64
2	異音	16
3	異常摩耗・変形	15
4	液漏れ・空気漏れ	13
5	破損・折損	13
	その他	55
	合計	176

5. 走行距離別不具合情報件数は、走行距離が1万kmを超え5万キロ未満918件が全体の約32%と最も多く、次いで、5万kmを超え10万km未満679件、10万kmを超え372件、1kmを超え1万km未満354件の順となっている。

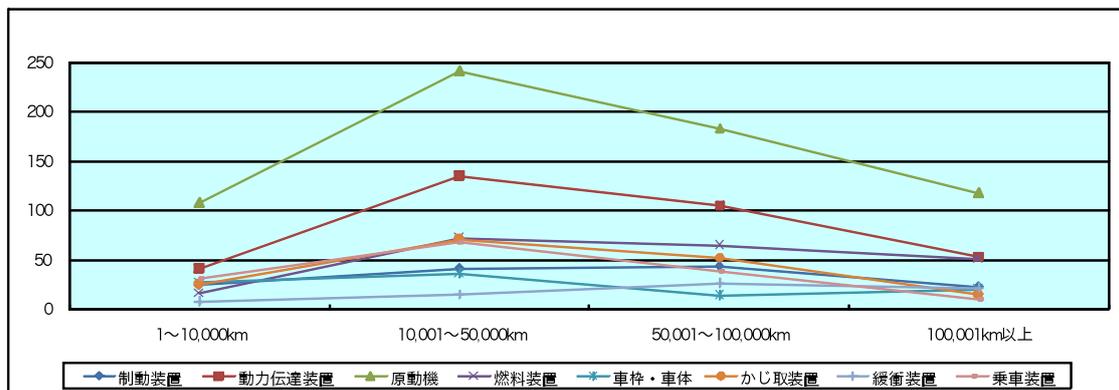


(件)

走行距離別 年度別	1~10,000km	10,001~50,000km	50,001~100,000km	100,001km以上	不明	合計
平成20年度	354	918	679	372	530	2,853

6. 乗用車の走行距離・装置別不具合情報件数は、全ての走行距離別において、原動機の不具合が最も多く、次いで、動力伝達装置の不具合が多い。3番目に多い不具合は、走行距離1万km未満では乗車装置32件、それ以外の走行距離別では燃料装置が該当し、その件数は1万kmを超え5万km未満では72件、5万kmを超え10万km未満では65件、10万km超では51件であった。

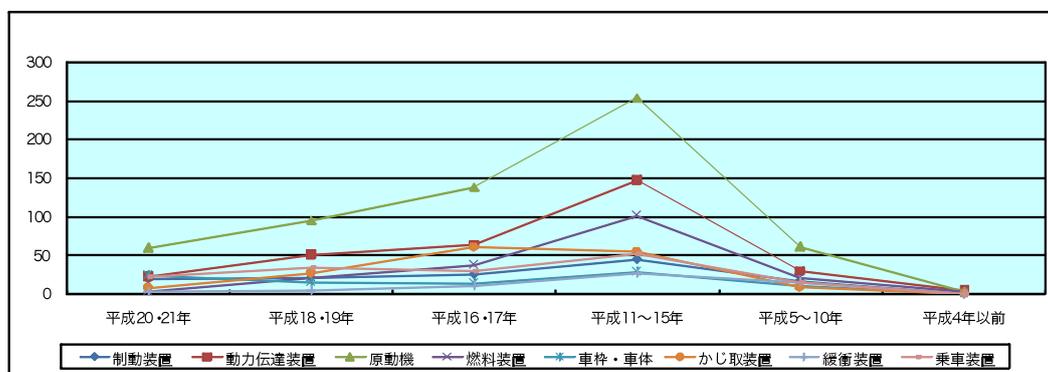
また、不具合の情報数が最も多かったのは、走行距離1万kmを超え5万km未満での原動機241件であり、次いで、走行距離5万kmを超え10万km未満の原動機184件、走行距離1万kmを超え5万km未満の動力伝達装置135件の順となっている。



走行距離別 順位	1～10,000km		10,001～50,000km		50,001～100,000km		100,001km 以上	
	原動機	件数	原動機	件数	原動機	件数	原動機	件数
1	原動機	108	原動機	241	原動機	184	原動機	118
2	動力伝達装置	41	動力伝達装置	135	動力伝達装置	106	動力伝達装置	54
3	乗車装置	32	燃料装置	72	燃料装置	65	燃料装置	51
4	車枠・車体	28	かじ取装置	71	かじ取装置	53	制動装置	23
5	制動装置	25	乗車装置	69	制動装置	44	緩衝装置	21
6	かじ取装置	25	電気装置	68	乗車装置	39	電気装置	20
7	燃料装置	17	制動装置	41	電気装置	31	車枠・車体	20
8	電気装置	15	車枠・車体	36	排出ガス発散	27	かじ取装置	16
9	灯火装置	11	灯火装置	34	緩衝装置	26	走行装置	15
10	走行装置	10	走行装置	26	灯火装置	20	乗車装置	11
11	緩衝装置	8	排出ガス発散	17	走行装置	16	灯火装置	6
12	排出ガス発散	6	緩衝装置	16	車枠・車体	14	排出ガス発散	4
	その他	28	その他	92	その他	54	その他	13
	合計	354	合計	918	合計	679	合計	372

7. 乗用車の初度登録年別・装置別不具合情報件数は、平成4年以前を除くと原動機の不具合が最も多く(平成4年以前では動力伝達装置が該当)、次いで、平成20・21年及び平成4年以前を除くと動力伝達装置の不具合が多い(平成20・21年では車枠・車体が、平成4年以前では原動機及び燃料装置がそれぞれ該当)。3番目に多い不具合は、平成20・21年では動力伝達装置及び乗車装置がそれぞれ23件、平成18・19年では乗車装置35件、平成16・17年ではかじ取装置62件、それ以外の初年度登録年別では燃料装置が該当し、その件数は平成11年から平成15年では101件、平成5年から平成10年では22件、平成4年以前では電気装置2件であった。

また、不具合の情報数が最も多かったのは、初度登録年が平成11年から平成15年の原動機255件であり、次いで、初度登録年が平成11年から平成15年の動力伝達装置147件、初度登録年が平成16・17年の原動機139件の順となっている。

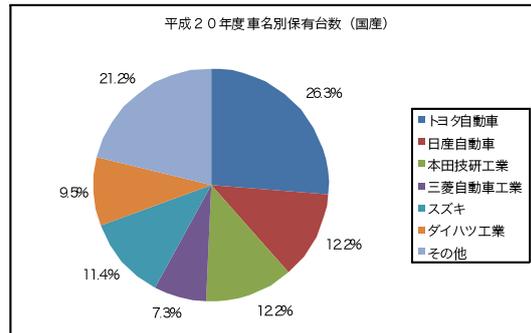
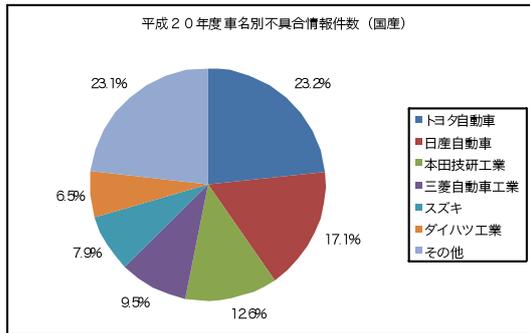


初度登録年別 順位	平成 20・21 年		平成 18・19 年		平成 16・17 年		平成 11～15 年		平成 5～10 年		平成 4 年以前	
	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数	件数
1	原動機	60	原動機	96	原動機	139	原動機	255	原動機	61	動力伝達装置	5
2	車枠・車体	24	動力伝達装置	51	動力伝達装置	65	動力伝達装置	147	動力伝達装置	31	原動機	4
3	動力伝達装置	23	乗車装置	35	かじ取装置	62	燃料装置	101	燃料装置	22	燃料装置	4
4	乗車装置	23	かじ取装置	27	燃料装置	38	電気装置	66	制動装置	17	電気装置	2
5	制動装置	20	制動装置	22	乗車装置	31	かじ取装置	56	緩衝装置	15	緩衝装置	1
6	電気装置	9	燃料装置	22	制動装置	26	乗車装置	53	乗車装置	15	制動装置	0
7	かじ取装置	8	車枠・車体	16	電気装置	25	制動装置	45	電気装置	12	車枠・車体	0
8	走行装置	6	走行装置	14	車枠・車体	14	灯火装置	30	車枠・車体	11	灯火装置	0
9	排出ガス発散	5	電気装置	12	走行装置	13	車枠・車体	29	かじ取装置	10	かじ取装置	0
10	燃料装置	4	灯火装置	11	灯火装置	11	排出ガス発散	29	走行装置	9	乗車装置	0
11	緩衝装置	4	緩衝装置	5	緩衝装置	11	緩衝装置	28	灯火装置	7	走行装置	0
12	灯火装置	3	排出ガス発散	5	排出ガス発散	8	走行装置	26	排出ガス発散	7	排出ガス発散	0
	その他	22	その他	35	その他	48	その他	76	その他	13	その他	1
	合計	211	合計	351	合計	491	合計	941	合計	230	合計	17

8. メーカー別不具合情報件数（国産車）は、トヨタ自動車 469 件が全体の約 23%と最も多く、次いで、日産自動車 346 件、本田技研工業 255 件の順となっている。

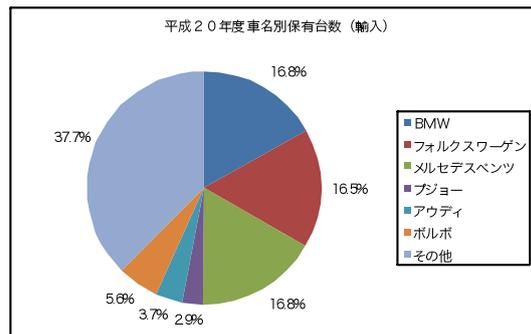
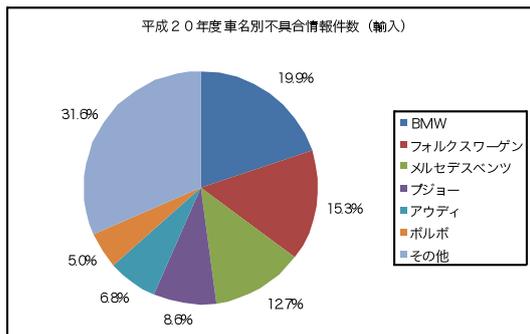
また、メーカー別不具合情報件数（輸入車）では、BMW166 件が最も多く、次いで、フォルクスワーゲン 128 件、メルセデスベンツ 106 件の順となっている。

これは、自動車保有車両数と相関しているものと考えられる。



	車名	件数
1	トヨタ自動車	469
2	日産自動車	346
3	本田技研工業	255
4	三菱自動車工業	191
5	スズキ	159
6	ダイハツ工業	132
	その他	466
	合計	2,018

	車名	台数(千)
1	トヨタ自動車	20,688
3	日産自動車	9,611
2	本田技研工業	9,650
6	三菱自動車工業	5,717
4	スズキ	8,962
5	ダイハツ工業	7,480
	その他	16,692
	合計	78,800



	車名	件数
1	BMW	166
2	フォルクスワーゲン	128
3	メルセデスベンツ	106
4	アージュ	72
5	アウディ	57
6	ボルボ	42
	その他	264
	合計	835

	車名	台数(千)
1	BMW	638
3	フォルクスワーゲン	628
2	メルセデスベンツ	636
6	アージュ	110
5	アウディ	141
4	ボルボ	213
	その他	1,429
	合計	3,795